

高松南高校PTAだより

編集・発行 県立高松南高校PTA 第59号



ごあいさつ

PTA会長 碓石 知代

一雨ごとに寒さも緩み春の日差しがきらめく頃となりました。
卒業生、修了生の皆さん、本日はおめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。
保護者の皆様には、これまでPTA活動にご協力くださったことに厚く御礼申し上げます。
卒業生の皆さんは、進学に就職に、新しい生活に心を躍らせ、親元や校則から離れ自由な環境になる喜びもあることと思います。それと同時に新しい環境に踏み入る不安もあると思います。

最近テレビでよく耳にする「コンプライアンスを守る」という言葉があります。「法令順守」という意味ですが、コンプライアンスを守るためにこれから皆さんが所属する組織には今までより幅が広がったルールに直面し、戸惑うかも知れません。しかし、難しくとらえず、安心・信頼して過ごすことに繋がると信じて、前に進んで下さい。

悩むことも必ずあるはずですが、けれども、離れていてもひとりでは決してありません。いつでも頼ってください。私たち保護者も周囲に守られてきた子供たちを送り出す事に不安は尽きませんが、いつでも手を差し伸べる準備はできています。これからもずっと見守り続けたいと思っています。

最後になりましたが、本年度PTA会長を務めさせていただき、私自身も貴重な経験と学びある時間を過ごせました。保護者の皆様、PTA活動へご協力いただき、本当にありがとうございました。

吉田校長先生をはじめ教職員の皆様には、子供たちをご指導いただきましたこと心より感謝申し上げます。少しずつ大人に近づきながら過ごした学校生活は、子供たちの記憶に深く刻まれたことと思います。

これから高松南高校の益々のご発展をお祈り申し上げます。



ごあいさつ

校長 吉田 稔

保護者の皆さまには、本校の教育活動へのご協力に対し感謝いたします。また、本日の卒業式・修了式を無事終了できましたこと、卒業生・修了生を見守ってこられた皆さまには心よりお祝い申し上げます。

「♪暮れなずむ町の 光と影の中 去りゆくあなたへ 贈る言葉♪」という曲をご存じですか。私が学生の頃、卒業時には欠かせない曲でした。当時を振り返ると、高校卒業後大学進学のために香川を離れ、新しい生活への期待と親から離れる不安が交錯しながら、この曲を聞いていたかもしれません。高校を卒業するときの思い出は、皆さまにもそれぞれあるかと思います。当時を振り返ってみて、楽しかったこと、切なかったこと、挫折したことなど卒業ソングとともに蘇るのではと思います。

「♪さくら舞い散る中に忘れた記憶と 君の声が戻ってくる♪」この曲は、卒業生・修了生が生れてきた頃に発売された卒業ソングです。子どもを授かってからこれまでの約20年間、さくら舞い散る中忘れられない記憶と子どもの成長が思い出されるのではないのでしょうか。本日をもって高松南高校を巣立っていくにあたり、皆さまが注いだ愛情とご苦労に改めて敬意を表したいと思います。しかしながら、今日の一日は長い人生の一つの節目に過ぎません。本校を離れ私たち教職員との毎日の関わりは無くなりますが、皆さまにはこれから先も長い時間にわたり、子どもとの関わりは続くと思います。これからの人生の節目に備えて、いつまでも支えてください。

今の若者たちにとっての卒業ソングは何でしょうか。皆さまにとっての思い出の卒業ソングは「♪卒業アルバムの 最初の春のページ 無邪気に笑う私がいる♪」かも知れません。世代によって異なる思い出の曲とともに、「当時の思い出は…」など、皆さまの高校時代とともに本校での出来事を家庭での話題のひとつにしてみてください。

最後になりましたが、保護者の皆さまにおかれましては今後ともご支援・ご協力をお願いし、ごあいさつとさせていただきます。

贈る言葉（1979年）海援隊
サクラ（2005年）ケツメイシ

笑顔の行方（1990年）DREAMS COME TRUE



ボランティアで餅つき参加していただいた PTA の保護者の皆さま、ありがとうございました。つくられたお餅は、南高生・保護者・地域の方々・多くの来場者に振舞われました。

さて、今回の文化祭テーマ「Colors ～色って無限にあんねん～」は、色が無限にあるように、人も個性は無限にあるという、多様性の考え方を取り入れたものになりました。

1 年生は、はりぼての作品・壁画・装飾。2 年生は、各学科の特色やイベント。3 年生は、それぞれ特色のあるバザーを各クラスで企画から実施まで行いました。

正門をくぐれば、色とりどりの、多種多様なイベントを文化祭実行委員のもと創作し、2 日間、無事終えることができました。保護者のご家族や中学生など公開日には、多くの来場者のもとにぎわいをみせました。



第 2 学期クラスマッチ

令和 6 年度後期クラスマッチは、12 月 20 日（金）、23 日（月）に行われました。女子はバスケットボール、男子はバレーボールを行い、熱戦を繰り広げました。どのクラスも大変な盛り上がりを見せました。各種目の優勝は以下の通りです。

ババ抜き優勝	3 年 6 組	2 年 3 組	1 年 2 組
男子フットサル優勝	3 年 7 組	2 年 2 組 A	1 年 5 組 B
女子バレーボール優勝	3 年 6 組 B	2 年 7 組 A	1 年 5 組
男子バレーボール優勝	3 年 2 組 B	2 年 2 組 A	1 年 6 組 A
女子バスケットボール優勝	3 年 6 組 B	2 年 4 組 B	1 年 6 組

（生徒会担当 山田 直人）



東京・北海道修学旅行 を振り返って

1 日目は、東京観光、ディズニーシーに分かれて、楽しい修学旅行が始まりました。ディズニーシーでは、ソアリンやタワーオブテラーなどのアトラクションに乗ったり、かわいいカチューシャをつけて写真を撮ったりしました。ジャックスパローに会って、写真を撮ってもらおうとお願いしたけど、「No!!」と言わ

れて悲しかったです。東京観光では、浅草で有名な人形焼きを食べ、凶が出やすいと言われているおみくじでまんまと凶が出ました。次に原宿に行って、竹下通りで韓国グルメを満喫していると、女優の吉川愛を見つけ、香川ではないめずらしい光景に感動しました。

2 日目 3 日目は、スキー・スノボ研修、小樽・札幌観光をしました。私はスノボを選んで、初めは滑れるか不安だったけれど、班の子と応援し合いながら、優しいインストラクターさんにも助けを借りて、最終的には滑れるようになりました。小樽・札幌の観光はおみやげを買い、北海道ならではの新鮮な海鮮丼や穴花亭のチーズクリームサンドを食べました。どれもおいしくて、北海道の味を堪能しました。どちらの街も違った景観の良さがあって、小樽の歴史的な雰囲気や札幌の都会的な雰囲気を楽しめました。

4 日目はウポイ国立アイヌ民族博物館に訪れて、アイヌ語のかたるたやアイヌの歴史に触れながら、平和や差別について考えました。当時実際に使われていた狩猟の道具や縄文土器を間近で見て、生活の様子を想像することができました。新千歳空港では、残ったお小遣いでたくさんのおみやげを買いました。空港が回りきれないくらい大きくて迷ってしまいました。

4 日間の修学旅行で普段できない体験をして、クラスメイトとの仲も深まり、大切な思い出が増えました。

（2 年 5 組修学旅行委員 宮澤七海、堂本真央）

1 日目



ホテル到着



東京ディズニーシー

2 日目



ホテルでの朝食

ジンギスカン



小樽運河散策

3 日目



スキー研修



スノボ研修



札幌自主研修

4 日目



ウポイ国立アイヌ民族博物館



新千歳空港

運動部

令和6年度後半主な成績

●弓道部

香川県高等学校弓道選手権大会 女子個人の部
(全国大会出場)

●剣道部

香川県高等学校新人大会 男子団体 第3位
女子団体 優勝

●相撲部

香川県高等学校新人大会 団体 優勝
個人の部 優勝

●ソフトボール部

香川県高校女子春季ソフトボール大会 優勝

●バスケットボール部女子

香川県高等学校新人バスケットボール大会
準優勝(四国新人出場)

●バレーボール部女子

全日本バレーボール高等学校選手権大会
香川県代表決定戦 2位

●ハンドボール部女子

全国高校選抜ハンドボール大会
四国地区予選2位 第二代表枠獲得(全国大会出場)

■ソフトボール部 全国選抜ソフトボール大会に向けて

10月の新人戦兼全国選抜ソフトボール大会予選会決勝では、1点差でむかえた最終回、全員が絶対勝つという気持ちを最後まで切らさず、接戦を勝ち切り逆転優勝することができました。全国選抜大会(長崎県大村市)では3月21日に富山県代表の富山県立滑川高等学校と対戦します。全国という舞台を楽しむことを忘れずにはまず初戦突破を目指します。

いつもチームを支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、全国大会へ向けチーム一丸となって頑張ります。(ソフトボール部主将 川田ここな)



■相撲部 全国相撲選抜大会に向けて

全国選抜大会は、3月15日(土)・16日(日)に高知県春野運動公園相撲場で行われます。今まで積み重ねてきたものを、試合ですべて出します。まずは、予選突破を目標にチーム一丸となり全力で戦ってきます。今日あるを感謝し最善をつくします。(相撲部主将 谷 望来)

文化部

●合唱部

全日本合唱コンクール香川県大会高等学校部門
銀賞(香川県代表)

●書道部

高校生国際美術展(世界芸術文化振興協会主催)
奨励賞 3年 西村 羽衣
全国書道展(四国大学主催)
大賞 3年 西村 羽衣
特選 3年 松高 美桜

2年 宮澤 七愛・佐藤 瑞季

萩池映莉子

1年 竹内 彩愛

国際高校生選抜書展

秀作賞

2年 佐藤 瑞季

●吹奏楽部

全日本吹奏楽コンクール香川県大会
最優秀・金賞(香川県代表)
全日本マーチングコンテスト香川県大会
金賞(香川県代表)

各種検定

(数字は合格者数)

全商各種検定1級

ビジネス文書実務 11
ビジネス計算実務 26
情報処理 2
商業経済 11

家庭科技術検定1級

被服製作検定(洋服) 4
食物調理検定 12

保育検定

秘書技能検定2級 4
秘書技能検定準1級 7
測量士補 3
危険物乙種第1類 3
乙類第2類 4
乙類第3類 6
乙種第4類 11
乙種第5類 2
乙種第6類 16
3
5

トレース技能検定3級

15
ガス溶接技能講習 21
小型車両系建設機械特別教育 39
2級土木施工管理士 15
実用英語技能検定3級 5
準2級 12
2級 3
(令和7年2月現在)

進路について(進路指導部)

令年度はコロナウイルスの影響は少なくなりましたが、インフルエンザは以前より流行しました。進路ガイダンスにも参加することができ、オープンキャンパスも以前と同じように行うことができました。また、インターネットを介した情報も多くなってきています。

受験するときに、受験教科を少なく絞ろうとする傾向があります。入試に使用しない教科をつくって、負担を軽くしようとするのです。苦手教科はそうした教科になりがちですが、苦手教科に前向きに取り組んだ人ほど実は合格に近い位置にいると思います。知ることによって新たな視点や考え方が得られると思うので、すべての教科を通して『確かな学力』を身に付けて下さい。そして、進路選択の幅を広げるためにも一般入試にチャレンジして下さい。勉強は苦しいだけのものではありません。楽しい事も多いです。

就職状況

今年度の就職予定者は37名。昨年度は36名。県下の多くの高校で、就職希望者数が減少しています。就職で、まず1番に考えて欲しいことは「どんな仕事がしたいか」です。興味がなかった仕事でも、やってみると面白かった、ということも、もちろんあります。でも、生きていく中で、まずは、自分で考え、悩み、「決める」ことが大事だと思います。更に、会社を給料の高さで決めないで下さい。早い時期に会社を辞めるケースが多いです。会社を見て、働いている人を見て「みんな真剣だ」「ここなら頑張れる」と思える会社を選択して欲しいです。公務員を希望する場合は、今日から問題集を買い、勉強を始めて下さい。専門学校生も同じ高卒卒で受験します。彼らは毎日朝から夜中まで公務員試験の勉強をしています。その人たちとの競争です。

学校評価(保護者アンケート調査)結果報告

本年度も学校評価の一貫として、3年生の保護者の皆様にアンケート調査をお願い致しました。①～⑥の質問項目について、「4. よく当てはまる」「3. やや当てはまる」「2. あまり当てはまらない」「1. 全く当てはまらない」の4段階で回答していただきました。下記はその結果を集計したものです。

<質問項目>

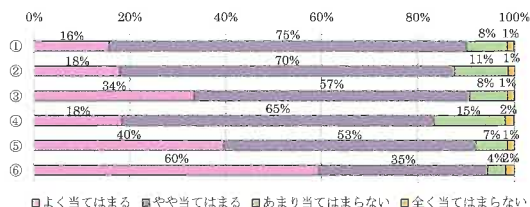
- ① 高松南高校は、自ら学び自ら考え、責任のある行動がとれる人間を育てている
- ② 高松南高校は、さわやかなマナーと思いやりの心をもった人間を育てている
- ③ 高松南高校は、各学科の特色を生かした学習活動を通して、将来社会に貢献しようとする態度を養いつつ、自己の進路希望の実現に向けた意欲と力を育てている
- ④ 高松南高校は、交通安全対策やいじめ防止、教育相談対応など、生徒が健康で安全に過ごせるようにしている
- ⑤ 高松南高校は、部活動や学校行事を盛んに行い、それぞれ成果を上げている
- ⑥ 子どもを3年間高松南高校に通わせて、良かったと思っている

全ての項目について、80%以上の保護者の方から「よく当てはまる」「やや当てはまる」という回答をいただき、良い評価をいただくことができました。自由記述では、「担任の先生が細やかに対応してくれた」「いろいろな資格が取得専門的知識が身につけることが出来たので満足している」「行事は他の高校に比べ子供達が進んで参加していてとても楽しそう」「色々な科があることから、幅広く生徒を集め、人間性豊かな学校になっていると思う」といったようなご意見・ご感想が寄せられました。一方、校則や夏冬の空調機器稼働について改善を求めるご意見もいただきました。

また、学科別では、「普通科」は83%、「環境科学科」は100%、「生活デザイン科」は100%、「看護科」は100%、「福祉科」は100%の保護者の方から本校の取組(生徒の希望に沿った進路実現を目指した取組)に対して良い評価をいただきました。これからもご期待に応えられるよう、より一層努力して参りたいと思います。

本校の教育方針は「二十一世紀の担い手として、広く社会に貢献しようとする健全な徳性と優れた知性をもち、主体的に判断し行動する創造性豊かなたくましい人間の育成を目指し、五つの学科と専攻科を置く総合制高校の特色を活かした教育を推進する」です。今回いただいた貴重なご意見を参考に、今後とも全職員あわせて教育活動に邁進して参りますので、これまで同様、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

3年生保護者アンケート結果



中国・四国地区高P連大会(7月12日)に参加して

◇◇PTA会長 碓石 知代◇◇

「はばたけ若人よ 郷土の空へ～みんなあ～が願いゆぜよ!」を大会テーマに催された高知県大会に参加しました。

開会行事後、垣内守男氏による『夢を叶えるジョンマン・スピリット』と題した講演がありました。高知の漁村に生まれ14歳の時に太平洋で遭難し、アメリカの捕鯨船に救助された後24歳までアメリカで勉学に励み、様々な逆境を乗り越え帰国後は日本の近代化に大きく貢献し開国への扉を開く原動力となった、ジョン万次郎の諦めず一歩を踏み出し人の役に立つ精神を講義いただきました。その後高校生による学校紹介・取組概要の発表があり、農業高校による地域の農園との共同開発、商業高校によるラオス学校建設活動・森林保護活動など、高校生が課題解決力を学んでいることに驚きました。各学校の開発商品の販売もしていました。

研究協議で印象に残ったのは昼間部、夜間部の2部制で年齢も20歳以上の生徒が在籍する山口県立下関双葉高等学校でのPTA活動です。「できることをできるだけ」を合言葉に、不定期で開かれる役員会、22時までの来校できる時間の参観など工夫がありました。

同じ時間を共有できなくて子供たちが卒業する時に思い出に残るような活動の幅を広げている保護者の皆さんに感動しました。環境に合わせた取り組み方で生徒、先生方、保護者が一丸となった学校づくりができていますばらしさを知ることができました。ありがとうございました。

令和6年度大学・専門学校訪問研修会(10/18～19)に参加して

◇◇PTA監事 亀井 桃子◇◇

「進化を続ける学校シリーズ・神戸方面」のテーマのもと、香川県高等専門学校PTA連合会主催の研修旅行に参加しました。1日目は、きれいで最新の設備を誇る「神戸学院大学」、歴史を感じる重厚な建物を有する「関西学院大学」、プロ顔負けの設備と講師陣を誇る「神戸電子専門学校」を見学しました。2日目は、抜群の立地とおしゃれな施設が人気の「武庫川女子大学」、最後に海外留学に力を入れグローバルで即戦力の人材育成を目指す「大和大学」と、それぞれ特色のある学校を案内して頂きました。

特に印象に残ったのは「神戸電子専門学校」で、近隣の企業や官公庁から楽曲や映像制作等のプロジェクトの企画持ち込みがあり、学生が自分の作品や能力を直接売り込める機会があることを知り大変驚きました。企業からのスカウトも多いと聞き、学校や卒業生への信頼が就職実績として表れていることは素晴らしいと感じました。

私自身の娘達が大学受験をした時期は、まだコロナ禍ということもあり現地のオープンキャンパスに参加することはできませんでした。これから進学準備に臨む高校生の皆さんには、是非とも積極的にオープンキャンパスに参加することをお勧めします。学校・学生の雰

囲気はもとより、周辺の交通の便や賃貸住宅の家賃相場、住環境を確認して進学先選定に必要な情報をしっかり収集して下さい。南高生の皆さんがそれぞれの夢を叶えるため、自分にピッタリの進学先を見つけることができるよう応援しています。

第75回全国人権・同和教育研究大会(11月31日・12月1日)に参加して

◇◇人権・同和教育主任 山岡 良子◇◇

令和6年11月30日から2日間、熊本・福岡・鹿児島県の3県を会場に第75回全国人権・同和教育研究大会が開催され、PTA会長の碓石さんとともに参りました。私たちは熊本市国際交流会館で行われた「自主活動」の第1分散会に参加したのですが、どの報告も大変聞き応えがあり、学びの多い2日間でした。

初日1つ目の報告は東京都立板橋高等学校「Aとともに明らかにしてきたもの」。開口一番の発言が衝撃的でした。それは「先生方は今まで、お宅のお子さんは少人数クラスで手厚く見てもらった方がいいですよ、と言ったことはないですか?」という問いかけです。ドキッとして話に引き込まれました。内容は「分ける教育」を当然と思っていたご自身の過去のこと、そこから「分ける教育」に抗い誰も分けられないクラスを作っている現在までの歩みについてです。理想と現実の狭間で自分ならどうするか、考えさせられました。

次に聞いた報告は兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校の「大切なものを隠さず、ありのままの自分でいれるようになりました」です。2022年に市内で差別落書き事件が起き、そこから始まった取り組みについて報告されました。学年毎のテーマに基づき自分語りをするという実践を通して、報告者自身も自分のことを語っていくという内容でした。質疑応答の時に、報告者の教え子だという高校生がしっかりと自分の意見を述べて、それまで少し陰鬱になりかけていた会場の雰囲気が一変したことが大変印象的でした。

2日目は兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校の「手話の文化から人権を考える～鈴高 手話講習会の取り組み～」という報告から始まりました。難聴の生徒が入学し、手話講習会を他の生徒とともに開催するという取り組みについて発表されました。報告の最後のほうで、手話パフォーマンスをその場で教えてくれる時間があり、参加体験型で楽しい時間が過ごせました。何事もまずやってみることが大事だと改めて思い知らされました。

最後に聞いた報告は大阪府立宇佐高等学校の「Aさんは、その2行を削除した」です。「その2行」というのは「私は部落出身です。」と友達や周りの人から言われた時に皆さんは、何を言いますか。また、どう思いますか。私は1カ月前に自分が部落出身であることを知りました。」という文章でした。人権学習に熱心に取り組む、自らの出身を打ち明けようとする高校生と、子を思い立場宣言に反対する母親と、二人に優しいまなざしで寄り添う報告者。決して力強くはないけれど、極めて誠実にお話になる姿に心を動かされました。自分ならどう答えるか、難しい問題ですが考え続け、生徒に寄り添っていきたいと思います。

第2回PTA理事会

今年度2度目のPTA理事会が、1月30日(木)に、本部役員・クラス理事10名の出席のもと、開催されました。令和6年度PTA事業及び会計の中間報告等が承認されました。また、現況報告では、学校評価の概要、進路指導部、人権・同和教育部、生活指導部、教育相談部、保健指導部の5つの分掌からの報告がありました。



《編集後記》日頃よりPTA活動にご協力頂きありがとうございます。高松南高校PTAだより第59号が完成しました。南高生の学校行事での活動や部活動での活躍を記事にしております。本号では、9月に開催された文化祭、餅つきや2学期末のクラスマッチ、2年生の北海道修学旅行の記事などを掲載しています。ぜひお読みください。また、生徒が参加した行事がある毎にホームページが更新されていますので、ぜひ一度ご覧下さい。

■南高校ホームページ <https://www.kagawa-edu.jp/minamh02/>